

令和4年度 第2回 埼玉県北部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

日 時 令和5年2月27日(月) 午後7時から午後8時05分

場 所 深谷市生涯学習センター・上柴公民館・大会議室及びZOOM

2 出席者

・調整会議委員(別紙名簿のとおり)

委員総数 37名 出席者 31名(会場 10名 ZOOM 21名)

・事務局

保健医療政策課、医療整備課、本庄保健所、熊谷保健所

・傍聴者 3名 ZOOM

3 あいさつ

中山委員(熊谷保健所)

遠藤委員(本庄保健所)

小林議長(熊谷市医師会会長)

4 議題

(1) 議事1 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて
資料1及び資料2に基づき保健医療政策課から説明が行われた。

ア 資料1 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて
公立病院、公的病院及びそれ以外の医療機関にかかる調整会議での対応方針の策定、協議、対応方針の合意・見直しの進め方及び令和5年度までの協議スケジュール等についての説明が行われた。

イ 資料2 非稼働病棟を有する医療機関実態調査結果については、北部圏域でも4か所あるが、どこも人員不足が主な理由となっているなどの説明が行われた。

【質疑・応答】

(伊藤委員)

公的医療機関等2025プランを令和5年度までに作るとなっているが、いつから適用されるのか、また、何か年のプランとなるのか。

(保健医療政策課)

公的医療機関の2025プランにつきましては、平成29年度に2025年までのプランとして厚生労働省から公的医療機関に作成が求められたもので、当時から公的医療機関となっているところは、すでにこのプランは作成されており、それを時点修正して2025年まで進めていただくことになる。

新たに地域医療支援病院等になった医療機関については2025プランを作成してないの

で、残り2年のプランとして、作成していただきたい。

(伊藤委員)

それでは、2025プランは2025年までの2年間のプランを作るということで、そのあとにまた新たなプランを作成するということか。

(保健医療政策課)

2025プランの後継プランについては、厚生労働省からもまだ示されていないが、2025年までの地域医療構想も2040年までを視野に入れた新たな地域医療構想を作成するという方向になりそうなので、公的医療機関のプランも後継のものが厚生労働省で検討され、ガイドライン等が示されると考えている。

(2) 報告1 埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

資料3-1、2及び参考資料に基づき、医療整備課から説明が行われた。

令和4年度は県内の6圏域（南部、南西部、東部、県央、川越比企、西部）を対象として1,763床の病院整備計画の公募行い35の医療機関で1,465床の採択結果となり不足数については来年度再公募を実施すること及び今年度の公募の経緯等について説明が行われた。

【質疑・応答】

(遠藤委員)

公募対象に北部圏域はなく、県全体でもバランスを欠くのかなと思う。

国が決めているので難しいところもあると思うが、例えば隣接するところで感染症の医療や救急医療など境界を越えた医療の調整などは将来的にどうなるのか。

(保健医療政策課)

新型コロナの影響で、保健医療圏単位の病床整備について問題があったことも事実だが、それを踏まえ国に対して医療圏をまたいだ形で知事の権限で弾力的に感染症医療など高度な専門医療ができるような病床の配分ができないかということは要望している。

(伊藤委員)

病床数の報告はあるが、その地域で県が示した適正な高度急性期、急性期、回復期、慢性期の範囲となっているのか

(医療整備課)

今年度の公募に関しては、応募する医療機能を二本柱として一つは地域医療構想上、不足が予想される医療機能、もう一つは地域医療計画の実現に向けて必要と考えられる病床としている。

(3) 報告2 令和3年度病床機能報告について

資料4-1～4及び参考資料1に基づき保健医療政策課から説明が行われた。

【質疑・応答】

特になし。

(4) 報告3 外来機能報告及び紹介受診重点医療機関について

資料5及び参考資料2に基づき保健医療政策課から説明が行われた。

国において、NDBデータの一部レセプト情報の補正作業を行う必要が生じ、報告開始が延期されたことに伴い、地域医療構想調整会議における協議及び県による紹介受診重点医療機関の公表が延期となったことについて説明が行われた。

【質疑・応答】

(伊藤委員)

紹介受診重点医療機関になるには申請等が必要なのか。

(保健医療政策課)

外来機能報告の中に紹介受診重点医療機関になる意向の有無を確認する項目があるので、そこで御意向を示していただくことになる。

【全体を通して】

(宮山アドバイザー)

議事1 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについてですが、公立・公的以外の医療機関の調査表にいろいろ調査項目がありますが、その中でも病床稼働率の低さ、受皿の有無につきましては、病床の有効活用に向けた議論の参考になると考えているので、各医療機関の皆様には積極的に報告をいただきたいと思います。

以上